

2011 April

4

Vol.61

広報
KaSaMa

特集 TOPICS

平成23年度施政方針 ●P3

主要施策の概要(抜粋) ●P4-P9

平成23年度予算 ●P10-P11

笠間



平成23年4月14日発行 笠間市市長公室秘書課
〒309-1792 茨城県笠間市中央3-2-1 TEL.0296-77-1101 FAX.0296-78-0612
URL <http://www.city.kasama.lg.jp/> E-mail info@city.kasama.lg.jp

災害ボランティアとして活動する高校生

東日本大震災

笠間市でも家屋などに大きな被害

3月11日の東日本大震災による市内の被害状況は、人的被害については負傷者50人程度に留まり、幸いにして死者はなかった。しかし、電気や水道などのライフラインが寸断されたことや余震に対する不安などから、11日夜には2,000人以上の市民が友部中学校体育館ほか8箇所の避難所に自主的に避難した。

一方、家屋の被害は大きく、損壊した家屋が5,000棟を超え、主に屋根の瓦が壊れたり大谷石塀が倒壊したりする被害が目立った。

また、公共施設への被害も大きく、なかでも笠間市役所笠間支所が壊滅的な被害を受け使用不能になったほか、公民館や図書館など安全が確認できるまで臨時休館となる施設が相次いだ。



大きな被害を受け使用不能（笠間市役所笠間支所）



大谷石塀が倒壊（下郷地区）



給水のため、たくさんの市民が詰めかけた（笠間市役所本所）

※被災写真については、27ページにも掲載しています。



避難所の様子（笠間小学校体育館）

「がんばろう かさま」

復旧を目指して職員一丸となって取り組みます

3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災では、想像を絶する被害と多くの方々の尊い生命が犠牲になりました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

そして、未だ行方不明の方々の早期発見を願うとともに被災された方々に心から御見舞い申し上げます。

今回の地震は、笠間市においてもライフライン、公共施設、家屋等に膨大な被害をもたらし、地震直後から行政の対応に対しさまざまなご要望ご意見を

いただきました。

完全復旧までには時間を要しますが、一刻も早い復旧を目指して職員一同全力を挙げて取り組んでまいります。この地震を期に原点に戻って災害に強い安全なまちづくりの対策を進めてまいります。

震災直後よりご協力をいただいているボランティアの方々や多くの方々からの支援物資、義援金、そして姉妹都市等の心温まるご支援に心より感謝申し上げます。

笠間市長 山口 伸樹

平成23年度 施政方針



3月1日 平成23年第1回笠間市議会定例会

◆はじめに

平成23年度の一般会計をはじめ各特別会計・企業会計の予算並びに関係諸議案のご審議をお願いするにあたり、市政運営についての基本的な考え方と主要施策などについて所信を述べさせていただきます。

私は、昨年4月の市長選にて、市民の皆様から再度の負託をいただき、約束したマニフェスト「躍進宣言」の実現のため、「公平・公正な行政運営」「情

報の公開・共有」「市民と行政の協働」「責任ある行政」を市政経営の理念として、「躍進する笠間市づくり」に取り組んでいるところであります。この間、議員各位そして市民の皆様には、市政運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来など「拡大から縮小へ」、また、地方分権の進展に伴い拡大する自治体間競争による行政サービスの「均一化から個性化へ」と地方自治体を取り巻く社会経済状況は大きく変化しております。

さまざまな行政課題や多様化する市民ニーズに対応し、活力ある地域社会を維持していくためには、市民に一番身近な基礎自治体である市が地方分権の受け皿となり、自主的、自立的な都市経営を推し進める必要があります。

また、行政責任のあり方や政策過程を含めた行政情報の公開をさらに推し進め、知恵と工夫により、市民の力、地域の力で解決していくために、市民と行政の協働の仕組みを確立していく必要があります。

地域主権が叫ばれる中、笠間市では、茨城県の「まちづくり特例市」の指定を受け、現在までに県から32法令の事務についての権限移譲を受け、市民サービスの向上を図ってまいりました。平成23年度は、県内の10万人未満の市としては初めて、特例市の全分野の権限受け入れとなる、環境や福祉、市民活動などの分野23法令の事務について移譲を受け、自己決定・自己責任

に基づく行政サービスを行ってまいります。

平成23年度は、笠間市のまちづくりの総合的指針となる総合計画の前期基本計画が満了となり、後期の基本計画を策定する年となります。今まで行ってきたこと、市民との協働のもと、議会と連携し、社会情勢の変化に対応した計画を策定し、「みんなで創る文化交流都市」の実現を目指してまいります。

◆施政方針の考え方

さて、本市を取り巻く状況ですが、国全体において人口減少社会が到来し、人口構造についても少子高齢化がますます進行している状況の中、当市もその例に漏れず、昨年行われた国勢調査の速報値によりますと、本市の人口は、79,423人であり、5年前の調査時の81,497人と比較して2,074人、2.5%の減少となっております。明らかに人口減少局面を迎えております。

人口の減少、少子高齢化は、労働人口の減少、消費の縮小、地場産業や農業などの後継者不足による地域産業の衰退等、地域の活力を失わせるさまざまな問題を引き起こし、また、社会保障制度の持続可能性への影響や、市民の生活を支えてきた地域の絆の崩壊などさまざまな課題が生じており、これらに対する対策が急務となっております。また、地域医療や福祉につきまして

は、国の制度改革により地方を取り巻く状況は大きく変化しており、市民の安全・安心に対する信頼が大きく揺らいでいるところであります。

このような状況の中、平成23年度は、平成22年度に引き続き少子化対策「かさまっ子プロジェクト」「農業施策「クラフト農業プロジェクト」、地域医療・福祉施策「すこやか安心プロジェクト」を重要施策として位置付け、事業を展開してまいります。

「かさまっ子プロジェクト」につきましては、保育料の軽減や不妊治療費助成事業、医療福祉費自己負担助成事業（マル福）などの既存事業に加え、児童クラブ推進事業の拡充、さらには複合的機能を有する児童館の建設、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業などに取り組んでまいります。

「クラフト農業プロジェクト」につきましては、農業は地域の地場産業という考え方のもと、担い手の育成や栗・梅・花きなどの生産振興、栗産地の育成支援、地場農産物のブランド化事業、グリーンツーリズムに関する施策などに加え、喫緊の課題となっており、耕作放棄地の解消に向けた取り組みを進めてまいります。

「すこやか安心プロジェクト」につきましては、市立病院における日曜・平日夜間初期救急診療、筑波大学病院連携事業に加え、健康都市宣言、健康づくり計画策定などWHO健康都市を目指した取り組みを新規事業として行なってまいります。

主要施策の概要「抜粋」

1. 広域交流基盤を生かした 新時代のまちづくり 〔土地利用・都市基盤〕

◆岩間駅周辺整備事業

岩間地区の新たな玄関口として、交通結節点の機能強化や駅アクセスの利便性向上のため、駅舎および自由通路、岩間駅東大通り線の整備を進め、来年3月の供用開始に向けて取り組みます。また、効率的な土地利用や居住環境の向上のため、岩間駅東土地区画整理事業を進めます。

◆国・県道の整備

国道50号は、稲田地区の慢性的な交通渋滞の解消に向け、国と連携しながら、事業促進に努めます。

国道355号の笠間バイパス整備は、県道笠間つくば線から市道来栖飯合線までの区間の平成24年度末の供用化を目指し進めるなど、引き続き早期完成に向け、県と連携しながら事業促進に努めます。

県道整備も、県と連携しながら改良率の向上に向け、積極的に事業促進に努めます。

◆市幹線道路の整備

国の交付金や合併特例債などを活用しながら、都市計画道路上町大沢線、南友部平町線、笠間小原線および来栖本戸線の整備の早期完成に努めます。

◆生活道路の整備

緊急車両通行不能箇所や交通危険箇所



笠間市みどりの広場での「笠間いきいき広場」

2. 多彩な交流で飛躍する活 力ある産業のまちづくり 〔産業〕

◆中小企業の支援

中小企業事業資金融資制度として保証料や利子補給の補助を実施します。また、雇用の安定を図ることを目的に行っている「笠間市中小企業緊急雇用

◆畜産試験場跡地の利活用

県と市の共同事業として、跡地利活用のうえで課題である雨水排水処理についての基礎調査を実施し、跡地の利活用を促進します。

所など緊急性の高い要望箇所を優先的に順次整備します。笠間地区の排水整備は、雨水排水等の調査結果に基づき、緊急度の高い箇所から計画的に整備を行います。

安定支援補助金」を引き続き実施します。

中小企業が行う労働環境改善のための設備投資に対する補助である「企業活動支援事業」の補助率を拡充して支援を行います。

◆雇用の支援

学生と非正規雇用者を対象にした「就職応援事業補助金」と併せ、事業者や就職活動中の離職者などの、就職に関連する資格取得に対して支援を行う「職業能力アップ支援事業」では、対象事業者を拡充して取り組みます。また、国の制度を活用し、失業者の雇用機会を創出する事業として、引き続きふるさと雇用再生特別基金事業および緊急雇用創出基金事業に取り組み、約40名の雇用を創出します。

◆企業誘致の推進

高速道路の優位性を生かした茨城中央工業団地（笠間地区）や笠間東工業団地は、企業へのPR活動やフォローアップを行い、企業誘致に取り組みます。既存企業の支援は、企業への定期的訪問を行い、ワンストップサービスによるさまざまな相談や事業地拡張計画などの支援強化を図ります。

◆定住化の促進

都内で笠間市の紹介・説明会を実施するなど、移住促進対策を進め、また、さらなる市の魅力向上、若年層の市内への引き込みを図るため、景観の調査研究を美術系大学との連携事業として進めます。併せて、教育、育児等を含めた安心、安全なまちづくりを強力に進めながら、住居対策なども、引

き続き検討を進めます。

◆商業の振興

県の補助事業を活用し、商工会や商店会などが笠間地区と岩間地区で実施する空き店舗対策や賑わい創出などの事業の支援を行うとともに、笠間地区市街地内をめぐる事業を商店会・商工会・観光協会・美術館などと連携し、「街なか周遊事業」として実施します。

笠間のご当地グルメとして認知されてきている「笠間のいなり寿司」は、笠間のいなり寿司いな吉会が、昨年、茨城県で初めてB-1リーグランプリを主催する愛Bリーグの準会員として加盟が認められ、今年9月に埼玉県行田市で開催される関東B-1リーグランプリに参加する予定です。さらに、笠間をPRするイベントとして、県内外のご当地グルメを集めた「B級ご当地グルメサミットin笠間」を秋に開催します。



笠間初午いなり寿司まつり

◆笠間稲荷門前通り整備事業

本市を代表する観光拠点である笠間稲荷神社を中心とした笠間稲荷門前通り周辺地区は、永続的な観光交流拠点としてのまちづくりを目指し、賑わい創出を図るため、地元協議会と連携して話し合いを進めます。

◆地場産業の支援

「稲田みかげ石」は、県や関係機関と連携し、公共事業への活用や販路拡大事業として「いばらきストーンフェスティバル」「ストーンエキシビジョン」でのPRに努めます。また、稲田みかげ石スラッジの環境対策事業として、スラッジ処理組合への支援を引き続き行います。さらに、国の制度を活用し、稲田みかげ石の販路拡大とストーンエキシビジョン作品の活用に向けた「稲田みかげ石紹介事業」を稲田石材商工業協同組合に委託して実施します。

◆観光の振興

「笠間焼」は、陶板等の公共事業への活用や「笠間の陶炎祭」「笠間火器」など特長のあるイベントでのPRのほか、笠間焼の販路拡大を目指す「笠間焼プロデュース事業」を国の制度を活用し、引き続き笠間焼協同組合へ委託して実施します。また、全国のアマチュア陶芸家を対象に実施する「かさまアマチュア陶芸展」への支援を行います。また、「地域商品券発行事業」は、市民の購買意欲の高揚と市内の商業者の活性化を図る経済活性化の事業として支援します。

標としている「通年型観光地」を目指した、笠間の特色を活かした体験型旅行プランを販売するものです。市としても笠間のPRになる新しいプランを企画・提案し、さらに笠間観光協会を支援します。

観光PRは、北関東自動車道全線開通や茨城空港の路線拡大を契機に、関係団体と連携した活動を新潟、長野方面へも強化します。北関東自動車道を利用する観光客を市内観光施設に誘導する案内板を笠間西IC付近に新たに2基設置する予定です。

茨城空港は、笠間観光協会と連携し、韓国を中心に笠間特有の産業視察プランを企画・提案し、国際観光の推進を図ります。空港周辺7市町で構成している茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会、通称「セブンネット」による広域でのPR活動を推進します。

県内で初めて認定された「恋人の聖地」は、若いカップルだけでなく子どもから年配の方まで、何度でも訪れたくなるような聖地づくりを目指し、青年会議所が主催する北山公園での恋人の聖地関連イベントの支援や、愛宕山に恋人の聖地をイメージする光のオブジェの設置を予定しています。

また、茨城の新しい文化の発信基地として、「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマとし、年間約70万人が訪れる笠間芸術の森公園のさらなる利用促進や、周辺地域との調和を図るため、ギャラリロードや北駐車場入り口などに、道路景観整備等を推進します。

春の「花めぐり」、秋の「笠間の菊まつり」等を魅力のあるものとし、「つじ祭り」や「菊まつり」において夜のイベントを充実させ、観光客の滞在時間の延長や宿泊の促進を図れるよう関係団体と連携して取り組みます。

◆水田農業の推進

笠間の菊まつりでは、笠間稲荷神社入り口のポケットパークに設置した大学との連携による「きくポケット」が観光客や地元の方に好評でありましたので、平成23年度も新たな装飾を検討し、笠間らしい菊の華やかさを演出します。

◆経営安定化農業

「農業者戸別所得補償事業」が畑作も含めて本格実施されることから、多くの生産農家が本制度の恩恵を得られるように説明・周知等に努めます。また、米の生産調整は、引き続き集落営農組織等に対する支援を行うとともに、市の転作推奨作物として推進していき、新規需要米の流通助成を新たに実施します。

◆耕作放棄地対策

安定的な農業経営を目指した担い手の育成強化と新規就農者の確保に努めます。具体的には、個別経営相談会を実施するとともに、農業者に対する各種補助事業の情報提供および就農志向者への支援活動を引き続き行います。

◆農産物の生産振興

農業の担い手が耕作放棄地を借り受け再生する際の国の助成事業に市単独補助を上乗せし、積極的な農地の再生支援を行います。



【かさまの粹】

要な農産物の生産体制の強化支援策を引き続き実施します。特に、要望の多かった、栗園の改植に対する伐採・抜根作業費用の一部助成を新たに実施します。

また、これらの農産物を販売促進に結びつける戦略として、地域ブランド「かさまの粹」認証制度により、さらなる認証農産品の創出を図るとともに、あらゆる機会でのPRを通じ積極的に情報発信を行います。

◆グリーンツーリズムの推進

3月に地域住民の手によるフルサポート型市民農園「あいあい農園」が開園する運びとなりました。新たな形態の市民農園として、地元管理組合による積極的な運営が展開されることを期待しています。

◆農地の基盤整備

経営体育成基盤整備事業の箱田中央地区および滝川地区と畑地帯総合整備

事業の小原地区を県営事業により実施しており、地域との調整を図りながら順調に進捗しています。

霞ヶ浦農業用水は、末端の受益地である北川根地区までの早期着水や友部土地改良区内の揚水施設改修の県営基盤整備事業への採択を目指し、関係機関と連携を図ります。

石岡台地農業用水は、関係土地改良区と連携を図りながら、将来に向けた用水の安定供給が図れるよう努めます。

◆農村環境保全対策

11地区組織、総面積409haで農地・水・環境保全事業に取り組んでおり、引き続き、土地改良施設の維持補修を含め地区の環境保全を図ります。

◆森林整備

森林湖沼環境税を活用した森林機能緊急回復整備事業による間伐や作業路の整備と、身近なみどり整備推進事業による平地林や里山林の整備・保全を行い、健全な森林の育成と多様な森林の活用を推進します。

3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり

【健康・福祉】

◆健康づくりの推進

笠間市のさらなる一体感を醸成する市民総ぐるみの運動として、市民の多くが関心のある健康をテーマに、平成23年度策定する「笠間市健康づくり計画」を核として、WHOの健康都市を目指した取り組みを展開します。

「笠間市健康づくり計画」は市民が

生涯にわたり、健康で元気に安心して暮らせる地域社会を実現するための行動指針となる計画で、平成22年度に実施した、市民の生活習慣等に関するアンケート調査をもとに策定します。

◆市立病院改革プランの推進

市立病院の経営は、患者数の増加が見られるものの、未だ厳しい状況が続いています。市立病院が目指す在宅医療を支援する訪問診療を積極的に行うとともに、県立中央病院や市内医療機関との連携をさらに強め、患者を増加させることにより経営健全化を図ります。

また、企業等の健康診断などの受入れも積極的に行い、収益の増加につながる取組みを進めます。

市立病院でも医師確保が重要課題となっています。筑波大学学生の地域医療の教育の場として、市立病院が地域医療研修ステーションとなり、非常勤医師の派遣を受けていますが、今後は、入院患者や訪問診療にも対応できる常勤医師確保に向け、医療関係機関を訪問するなど、情報を収集し医師の確保に努めます。

◆医療体制の充実

市立病院における日曜・平日夜間の初期救急診療とともに、新たに救急センターをオープンした県立中央病院との連携をさらに強めるなど、安心して医療が受けられる環境を整えるため、医療体制の充実に努めます。

◆医療福祉費自己負担助成事業

妊娠の継続または安全な出産のため治療が必要となる疾病または負傷に



笠間市立病院夜間救急診療開始式

対し、医療費の無料化を図り、制度を充実させます。

◆高齢者人間ドック助成事業

平成23年度は、新たに脳ドックを加え、高齢者の健康づくりを推進します。

◆福祉の推進

笠間市地域福祉計画を基本に、少子化対策をはじめ高齢者福祉・障害者福祉などに積極的に取り組み、社会福祉協議会やボランティア、NPO法人などと連携を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域福祉の構築に努めます。

◆障害者福祉の推進

障害者自立支援法による総合的サービスを提供するため、「笠間市障害者計画」と今後3か年を計画期間とした「笠間市障害福祉計画」を策定し、障害をもつ方が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指します。

障害者地域自立支援協議会は、地域

ケア事業や関係各課および関係機関との連携を深め、多様化する相談に対応できる体系づくりに取り組みます。

◆生活保護世帯の自立促進

今後も厳しい雇用情勢が予測される中で、国のセーフティネット事業を活用し、新たに「就労支援相談員」を配置して、被保護者の社会的自立に向けた支援に取り組みます。

◆高齢者福祉の推進

平成24年度・26年度までの3か年を計画期間とした第5期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定事業に取り組みます。

また、認知症高齢者への支援・理解を図るための講演会、認知症サポーター養成講座、シルバー・リハビリ体操の普及、転倒予防や認知機能改善に役立つスクエア・ステップ教室の開催やそのリーダー養成等に引き続き取り組むとともに、いきいきふれあい通所事業を介護予防事業に移行し、介護予防の充実に努めます。

◆介護保険事業

給付費適正化推進運動を進めるとともに、家族介護用品および介護慰労金支給などの介護者への支援を行い、介護サービスの充実に努めます。

◆児童館の建設

子育て支援の拠点としての複合的な機能を有する児童館の建設は、南友部地内の市有地を建設場所と決定し、来年4月の開館を目指し取り組みます。

◆ファミリーサポート事業

子育ての援助を希望する「利用会員」と子育ての援助をする「提供会員」と



宍戸小放課後児童クラブ

の相互援助活動として、また必要としている子育て世帯の支援事業として、今後も強力に実施します。

◆父子世帯に対する援助

母子世帯に対する援助と同様に、児童扶養手当の給付や就労支援対策など、積極的に取り組みます。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関と連携を図り、増加が予想される問題ケースに的確に対応します。

◆保育事業の運営

延長保育や一時保育、障害児保育など各種サービスを実施していますが、引き続き子どもを安心して預けられるよう、保護者のニーズに合った保育サービスの充実に努めます。

◆放課後児童クラブ

今年4月に東小学校に児童クラブを開設することにより、市内のすべての小学校に設置が完了します。また、入所希望者が定員を上回る友部第二小学

校に第2児童クラブを増設することにより、待機児童の解消を図ります。

すでに7児童クラブを民間委託しています。新たに箱田小、東小、友部小、

岩間第一小の児童クラブを民間委託する予定で、残る3児童クラブも民間活力の導入によるサービスの向上と、児童や保護者の希望に沿った運営を推進します。

◆不妊治療費の助成

夫婦の経済的負担を軽減するため、体外受精・顕微授精とも、1回10万円を限度に、1年度あたり2回まで、通算5年間助成する制度を継続します。

◆「かさま健康ダイヤル24」

「かさま健康ダイヤル24」は、日常の健康に関する不安等を解消し、安心して生活できるよう、より一層の利用促進を図ります。

◆予防接種の推進

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業を活用し、子宮頸がんの発症を効果的に予防できる子宮頸がん予防ワクチンを中学1年生から高校1年生の女子に、また、侵襲性肺炎球菌感染症を抑え、細菌性髄膜炎の発症を予防する、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンを0歳から4歳児に対して実施します。

◆出会い創出支援事業

市内の団体が行う出会いの場づくりや、いばらき出会いサポートセンターへの入会に対して助成を行います。また、独身者の親たちの結婚セミナーや交流会などを開催し、新たな視点からの出会いの場づくりを行います。

4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり

【生活環境】

◆上水道事業の推進

経営基盤の強化、水源並びに水道施設の適正な維持管理を図り、事業の健全経営に努め、安全な水道水の安定供給を図ります。また、石綿管・鉛管の早期解消に向けて、引き続き事業を進めます。

水道料金の見直しを昨年9月水道運営審議会へ諮問を行いました。料金統合については、平成24年度から段階的に行い、平成30年度を最終年度として3地区の統合を進めます。

◆下水道事業の推進

下水道管きよ整備は、接続意向調査等による優先順位の検討を行い、水洗化率の向上を目指すとともに、笠間地区からの圧送管、笠間幹線の予備ルートの一部工事に着手します。また、浄化センターともべの汚泥増設工事を進め汚水処理能力の向上を図ります。

◆農業集落排水事業の推進

小原地区を中心とする友部北部1期地区の管きよ工事のほか、汚水処理場の建設に着手します。

また、合併処理浄化槽設置事業も、引き続き森林湖沼環境税を原資とする県の補助事業を活用し、高度処理型合併浄化槽の設置促進を図り、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めます。

◆消防防災対策

住宅用火災警報器の普及を図ると

もに、防火水槽や消火栓などの施設整備を継続して実施するほか、円滑な消防活動をするため、友部消防署の消防ポンプ自動車を更新します。

◆救急体制

市民への応急手当の普及啓発やAEDの取扱いを含む普通救命講習会を、救急ボランティアおよび女性消防団員と連携して開催し、救命率の向上を図ります。

また、救急救命士の病院実習を中心とした再教育を充実させ、救急隊員が行う応急処置の質の向上に努めます。

◆消防団

団員の確保を図るため市広報紙、ホームページに消防団の活動状況を掲載するとともに、消防団協力事業所表示制度を取り入れ、消防団と事業所との連携と協力体制を構築し、団員が活動しやすい環境を整備します。

◆防災の推進

地域の防災意識の高揚と防災力の強化を図るために引き続き区長等の協力をいただきながら、自主防災組織の設立を促進します。

また、今年8月に畜産試験場跡地において、茨城県と合同の総合防災訓練を行い、災害時における迅速・的確な防災活動および関係機関との緊密な応援体制を強化し、併せて市民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図ります。

◆防犯、交通安全対策

住宅の玄関や窓などの防犯対策に対して助成を行う「住まいの防犯対策助成事業」を新たに実施するとともに、



自主防災組織（岩間栄町区）

「市民消費者力アップ事業」に取り組む、基礎的な知識を学ぶ市民講座や、市民講座で学んだ知識を活用する消費生活協力パートナーとして認定を行い人材を育成します。

◆環境対策

環境基本計画推進事業は、引き続き、市民・事業者・市が協働して推進します。また、住宅用太陽光発電システムや住宅用エコキュートの設置補助、公用車の電気自動車導入を引き続き行うとともに、緑のカーテンタウン事業等に取り組み、温暖化防止の啓発を図ります。

さらに、市内から排出される温室効果ガスを削減し、低炭素社会の実現に向け市民・事業者・市がそれぞれの役割や責務を共有し、地域が一体となり温暖化防止に取り組む「笠間市地球温暖化対策実行計画」を策定します。

◆「エコフロンティアかさま」

昨年11月30日に締結した「地域振興及び環境保全等に関する協定書」に基づき、地域振興と環境保全を図ります。

◆ごみの収集

笠間地区では、祝日のごみの収集は行っておりませんが、祝日に可燃ごみの収集があった地区はその翌日に収集を行うこととし、市民生活の利便を図ります。

◆住宅等の耐震改修

住宅等の耐震改修の促進に向けた「笠間市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年以前に建てられた木造住宅を対象とした木造住宅耐震診断事業を引き続き実施します。

◆公園管理

笠間市都市公園グリーンパートナー制度要綱により、市民との協働による、公園の美化・維持管理等を推進します。

◆道路管理

笠間市道路里親制度実施要綱により、市道における清掃、美化等の活動を住民と行政が協力して美しい潤いある道路環境づくりを推進するとともに、道路愛護意識の向上を図ります。

◆学力向上対策

学力調査等に見られる児童生徒の実態や、学力に関する課題への対応として、各学校が自主性を発揮し学力向上に向けた教育活動を推進する「学力向上支援事業」や、夏休み期間中に小学4年生を対象として補習授業を行う「学びの広場サポートプラン事業」を実施します。

◆寺子屋事業

各学年に学習アドバイザーを2名配置し、児童一人一人に対応したきめ細かな指導を行います。

◆学校施設

六戸小学校校舎と笠間中学校校舎の耐震補強工事を実施するとともに、稲田小学校校舎と友部第二小学校校舎の耐震補強実施設計を行います。

◆学校規模の適正化

引き続き各委員の幅広い意見を求めながら適正な学区編成に関する答申を

5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり
【教育・文化】

いただき、それに基づく実施計画を策定します。

◆学校給食

昨年4月から友部地区の炊飯委託経費の一部を補助し、友部・岩間地区の給食費を同額としました。また、笠間地区は、過去12年間にわたり据え置いてきましたが、近年の食材費の高騰により、栄養価やバランスを考慮した給食を提供することが困難になってきたので、本年4月から給食費を増額・改定することとしました。これにより市内全校の給食費が統一されます。

◆音楽によるまちづくり

「クールシユヴェール国際音楽アカデミーinかさま」のほか、新たに市内の全小学校を対象に、「青少年劇場小公演事業」に取り組み、学校にアーティストを派遣して、子ども達が生の演奏を鑑賞することで、音楽をより身近なものとして感じられる事業を実施します。



クールシユヴェール講師によるコンサート

◆笠間陶芸シンポジウム

今年9月に、東京藝術大学が主催する国際陶芸シンポジウムが開催され、その会場のひとつとして、笠間芸術の森公園を中心に市内各所で「笠間陶芸シンポジウム」を開催します。シンポジウムは、アジア、中近東、ヨーロッパ、北米、南米など約160人の諸外国の陶芸教育者と学生が集い、陶芸文化交流を実施するものであり、市においては、笠間焼の伝統文化との交流を通じ、笠間焼の振興を促進します。

◆スポーツの振興

かさま陶芸の里マラソン大会や全国高等学校アームレスリング選手権大会を開催します。また、6月に穴戸ヒルズカントリークラブで開催される日本ゴルフツアー選手権と同時開催のスナッグゴルフ全国大会を支援します。

また、市内のスポーツ団体との連携を図り、各種スポーツ教室の充実に努めます。

◆スポーツ施設

市民球場の内野およびフェンス等の工事を実施し、施設の安全を優先し住民サービスの向上に努めます。また、笠間武道館が老朽化していることから、改築に向けた設計に取り組みます。

◆図書館の利用促進

現在行っています図書館ネットワーク化事業の完了により、利便性がより向上しますので、市民ニーズに即した資料収集と積極的な提供を行い、引き続き利用促進に努めます。

また、子どもの読書活動をさらに推進するための新規事業として「としよ

かん1年生」を行います。

◆国際交流の推進

引き続き中国を派遣先とし、高校生を中心として6名の派遣を予定しています。

海外都市との交流は、笠間市国際交流協会と連携し、ドイツ・ラー市をはじめ各国大使館との交流等を行います。また、国際化に対応できるまちづくりを進めるため、定住外国人を支援する生活マップを作成し、情報の提供を行います。

6. 人と地域、絆（きずな）
を大切にした元気なまちづくり

【自治・協働】

◆協働のまちづくり

平成23年度を協働のまちづくり元年と位置付け、まちづくりや協働をテーマにしたワークショッップを地区ごとに開催し、協働のまちづくりの浸透を図ります。また、今年11月には市民憲章推進全国大会が「人を育む」をテーマに笠間市で開催されることから、市民を主体とした協働事業として実施されることを期待しています。

市民活動へのきっかけ、やりがいや楽しみづくりとして、市民が行うボランティアや社会貢献に対しポイントを発行し、そのポイントを記念品や市民活動支援などに活用できる「地域ポイント制度」を、茨城県内の市町村では初の試みとして導入します。平成23年度は市民モニターによる社会実験を行

い、笠間独自の地域ポイント制度の本格導入に向けて制度設計を行います。

まちづくり市民活動助成金は、新たな団体の利用促進を図り、市民活動や地域コミュニティ活動を支援します。

笠間市では権限移譲により今年の4月からNPO法人の認証事務を行います。笠間市には21団体のNPO法人がさまざまな事業に取り組んでいます。さらに法人化に向けた支援を行うとともに、市内のNPO法人の専門的知識を活かした行政との協働事業を推進します。

◆男女共同参画社会の推進

笠間市男女共同参画計画に基づき、引き続き意識啓発事業や男女共同参画推進事業者の認定を進めます。特に「男女共同参画講座」では、男性や若い世代の方を対象として、家庭や地域への参画支援のための講座を開催します。

また、笠間市審議会等委員への女性の参画促進要項に基づき、女性委員のいない審議会等の解消と、女性委員の割合を平成24年度までに30%に引き上げることを目指します。

◆まちづくり振興基金の創設

合併後の新市の一体感の醸成のため、合併特例債を活用した各種事業を展開してきましたが、この合併特例債を活用して、地域の連携強化や振興対策に資する「まちづくり振興基金」を創設し、今後のまちづくりのために役立てます。

◆行財政改革

第二次行財政改革大綱を策定し、更なる行財政改革を推し進め、将来にわ

たって持続可能な行財政基盤の構築に努めます。

試行的に行った行政評価外部評価ですが、平成23年度から本格実施に移し、市民の皆様などの評価も視野に入れながら、施策へと反映させていきたいと考えています。また、各種団体に対する補助金の見直しですが、昨年答申を受けた補助金検討委員会の答申結果に基づきながら、補助金の適正化に向け見直しを進めます。

◆組織機構の改正

基礎自治体としての機能を十分発揮できる、持続的な組織体制の確立を目指し、総務部・保健衛生部・都市建設部・各支所の改編を行います。特に支所は、組織が大きく変わり、これまでの5課3分室から3課に集約しますが、市民サービスの低下とならないよう配慮しますのでご理解をいただきたいと思います。

さて、我が国は今、大きな変革の中にあります。このような中、合併6年目を迎える今年は、「合併後の新時代から更なる躍進へ」と、将来に向けての土台づくりをしっかりと行う年であると考えています。

笠間市総合計画・基本構想の6つの柱を基本に、議会はもとより市民の皆様と真摯に議論を重ね、手を携えながら、職員と一丸となって「みんなで創る文化交流都市」を実現していきます。

笠間市長 山口 伸樹

平成23年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成23年度総額は、468億8,094万1千円となっています。予算編成に当たっては、限られた財源の中、重点的かつ効率的な予算配分に努め、特に少子化対策、農業対策、医療・福祉対策に重点をおいた予算編成をしました。

一般会計

一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。平成23年度の一般会計は、273億2千万円となっています。

歳入

自主財源のうち、市税は87億600万1千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は57億3千万円、国庫支出金については39億6,106万7千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上しています。が、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

歳出

限られた財源に対し、歳出では経費節

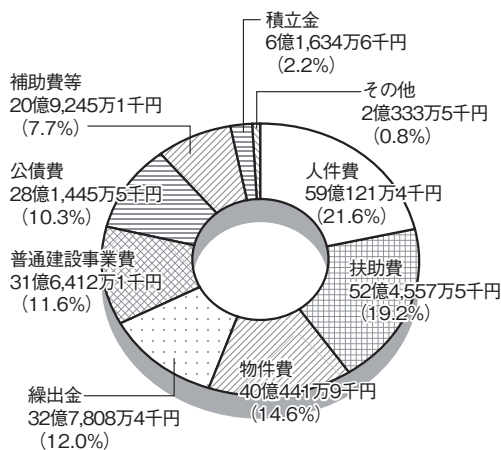
減に努め、各種施策の効果的な予算配分を行いました。

民生費には、高齢者の福祉対策、障害者の入所・通所等の支援費、子育て支援対策として児童館の建設、子ども手当、乳幼児や重度心身障害者等の医療扶助、生活保護などの経費として88億2,972万4千円を計上しました。

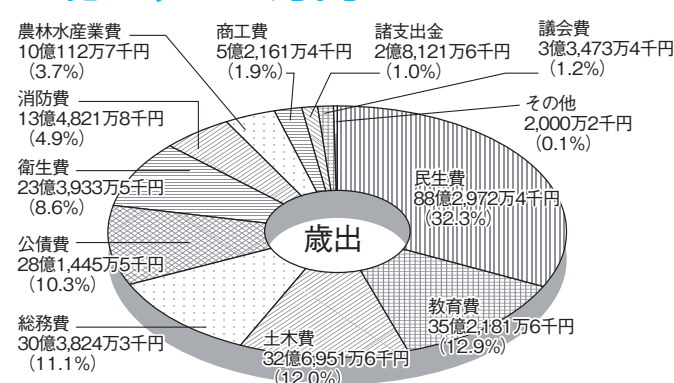
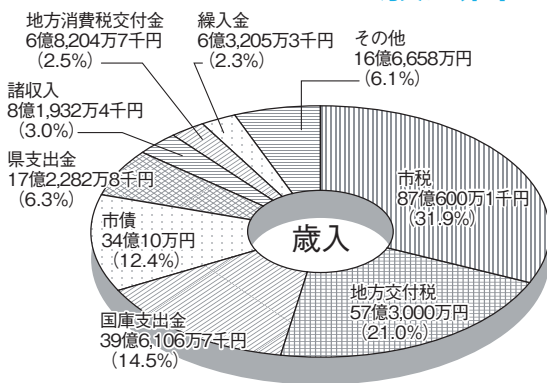
土木費には、生活道路の改良工事や市内幹線道路の新設工事、公共下水道事業等への繰出金などとして、32億6,951万6千円を計上しました。

教育費には、笠間学校給食センター整備費、小中学校、幼稚園の整備・管理費や生涯学習・公民館・図書館運営などの社会教育費、体育振興・給食センター運営などの保健体育費などとして35億2,181万6千円を計上しました。

歳出性質別状況



一般会計 273億 2,000万円



「笠間市民」結婚応援

笠間市民の皆様へ
・笠間市に感謝をこめてこれからも
ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

特典

- 衣装着ても50%OFF
 - ご両家にモーニング&留袖各1着レンタル無料サービス
—その他特典をご用意(詳しくはお問合せ下さい)—
- ※当館で結婚式を挙げられる方※笠間市に在住の方
※他のプランとの併用はできません。

結婚応援プラン

まるごと含まれた安心プランの誕生
お一人様2万円から
30名様からご利用になれます。

主な内容

- お料理・飲み物・挙式料・会場費・衣装
司会・美容・着付け・記念品・写真他
- ※内容は当社基準とさせていただきます。
※詳しくはお問い合わせください。
※各月5組様限定

本格的な大聖堂で外国人牧師による
感動的な結婚式を!

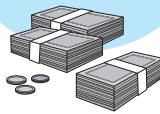
小さな結婚式

平日 59,800 円
土日祭日 118,000 円

- 【内容】●教会式●結婚証明書●ブライズルーム
●ウェディングドレス・タキシードレンタル料
●新郎着付料●新婦着付料
●小物●写真(6ツ切/1ポーズ)
- 神前式・人前式もご用意

結婚相談所

縁結び相談所
入会金・年会費無料
個人情報厳守いたします。

総務費 税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など  37,963円	土木費 市道の整備・補修や公共下水道の繰出金など  40,853円	教育費 各小中学校や公民館・図書館の運営費など  44,006円	民生費 高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など  110,329円	市民一人当たりに使われるお金 ※2月28日現在人口（住民基本台帳）80,031人で算出 合計 341,367円
その他 議会費や商工費など  14,464円	農林水産業費 国・県事業の負担金や農業振興等補助金など  12,509円	消防費 消防団や防災施設整備費など  16,846円	衛生費 予防接種や各種健診、ごみ処理事業など  29,230円	公債費 市債の元金・利子の返済  35,167円

特別会計

区 分	予 算 額
国民健康保険特別会計	80億4,200万円
後期高齢者医療特別会計	6億2,300万円
介護保険特別会計	47億 800万円
介護サービス事業特別会計	2,500万円
公共下水道事業特別会計	25億7,100万円
農業集落排水事業特別会計	5億5,300万円
岩間駅東土地地区画整理事業	1億7,000万円
特 別 会 計	166億9,200万円

特別会計は、国民健康保険や介護保険、公共下水道事業などの特定事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

企業会計

区 分	予 算 額
市立病院事業会計	5億4,470万 円
収益的支出	5億4,200万 円
資本的支出	270万 円
水道事業会計合計	22億6,715万8千円
収益的支出	17億7,000万 円
資本的支出	4億9,715万8千円
工業用水道事業会計	5,708万3千円
収益的支出	2,900万 円
資本的支出	2,808万3千円
企 業 会 計	28億6,894万1千円

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として、運営していく会計のことです。本市では、市立病院事業と水道事業および工業用水道事業で3会計があります。

一 般 会 計 273億2,000万円
特 別 会 計 166億9,200万円

企 業 会 計 28億6,894万1千円
予 算 総 額 468億8,094万1千円

努力は人生の熱意だ



塾 訓
目標は高くあれ
その目標が
高ければ高いほど
努力する甲斐がある
努力して後悔した人に
未だ会ったことがない
努力は人生の熱意だ
こうと決めたなら
最後まであきらめるな
やがて必ず道は開ける

合格だ
少人数クラス
クラス定員12名
平均5~6名

笠間友部校
笠間市役所前美容室 Fan2F
開校記念 キャンペーン 入会金無料
☎0296-78-5560

期間限定 4月28日(木)迄
4月~5月 授業料 半額

家族割授業料
2人目半額
3人目%無料

笠間友部校 ☎0296-24-6373
日立校 ☎0294-24-6373
ひたちなか校 ☎029-273-8653
東海校 ☎0294-54-2215
大みか校 ☎0294-35-2415
多賀校 ☎0294-59-1755
小水津校 ☎0294-43-8208
十王川原校 ☎0294-59-1755
常陸太田校 ☎0294-72-1200
高萩校 ☎0293-20-7711
磯原校 ☎0293-43-6455
大津校 ☎0293-43-6555

中学受験 エジソンくらぶ
中学受験専門コース 茨城・英宏中・若狭中
小学生 ピカソくらぶ
直線的な学習だけでは通用しない複雑な時代、論理的思考力・哲学・科学的探究心・コミュニケーション能力を育む教育を実践しています。

千と千尋の世界遺産を応援します！
高校受験進学英オコース

と・こ・と・ん・教・室
知性と教養は一生の財産です。
測りのある文化的な生活の糧とてほしい。だからこそ、私たちは勉強だけでなく、いろいろな考え方を指導してあげます。奥行きがでてくれば、引き出しがいっぱい。努力がたつてくれば、そんな人間を育てたいのです。
と・こ・と・ん・教・室 は、ご家族の皆様と一緒に子どもたちの幸せな未来づくりのお手伝いをさせていただきます。

と・こ・と・ん・教・室
平成進学アカデミー
日本語検定認定会場・英検・漢検・数検・河合塾・新教研・茨城統一テスト指定試験会場

無料体験授業
電話予約受付
☎0296-78-5560

説明会・体験授業は電話予約が必要となります。

り災証明書の発行について

笠間市では、り災証明書の受付を4月20日まで災害相談窓口（笠間市役所本所ロビー）で行っています。4月21日以降は、市民活動課の窓口で継続して受付を行う予定ですが、住宅に大きな損壊を受けた方は、現地調査を行いますのでなるべく早いうちに申請をお願いします。

一部損壊のり災証明書の発行については、添付写真を確認し、10日程度で証明書を発行する予定です。り災状況が写真で確認できない場合や一部損壊か半壊等の状況確認が必要な場合は、現地確認を行いますので期間を要します。

◆り災証明の申請受付

受付時間 8時30分～17時

受付場所 笠間市役所本所 災害相談窓口（1階ロビー）

※4月21日からは市民活動課窓口

提出書類 証明願（捺印）、被害状況の写真

※写真は4枚以上 できる限り被害状況がわかる写真を多く

証明書様式は、本所（り災受付窓口）・支所（市民窓口課）で配布、ホームページ（災害情報：り災証明について）からもダウンロードできます。

◆り災証明書とは

「り災証明書」は、市が建物（住宅）の被害状況調査を行い、その確認した事実に基づき発行する証明書です。各種の被災者支援制度の適用を受けるにあたって、証明書の発行が必要な場合は、市民の皆さんからの申請に基づき発行します。

◆主なり災証明書の使い道

□公的な支援：被災者生活再建支援法の適用、税金・利用料等の減免 等

□民間の支援：災害保険への申告、銀行融資の条件、会社への見舞金請求、学校の入学金等の減免 等

◆建物の被害区分（内閣府の指針による区分）

被害区分は、被害の程度50%以上は「全壊」、40%～50%は「大規模半壊」、20%～40%は「半壊」、20%以下は「一部損壊」となります。り災証明書は「住宅」と「非住宅（店舗・事務所・倉庫・家財等）」に分けて証明書を発行しますので、基本的には住宅は1棟ごと、非住宅では、事務所・店舗・倉庫・家財などそれぞれに申請をお願いします。

なお、非住宅については、被害区分の判定は行わず、り災したことのみ証明となります。

参 考 事 例

半壊（建物の損壊20%）の損壊程度とは屋根がほとんど損壊・落下、壁（外壁・内壁）が半分以上崩壊し、柱には亀裂や損傷がある状態となります。

※屋根（瓦）が破損・落下した場合は、損壊10%以下となります。

※民間の保険会社と被害判定が異なる場合があります。

被 災 写 真 の 例

全 壊



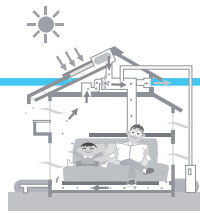
半 壊



一部損壊



問合せ先 市民活動課 77-1101 内線134



住宅用太陽光発電システムおよび 住宅用二酸化炭素冷媒ヒートポンプ 給湯器設置費の一部を補助します。

笠間市では、平成23年度の太陽光発電システムおよび二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）の設置費補助希望（抽選参加）申込みの受付を開始しました。

●申込みできる方

次のいずれにも該当する方
①市内に住所を有する方または市内に住所を定めようとする方のうち、補助金交付時までに笠間市内に住所を定めることができる方

②自ら居住する住宅（店舗等の併用住宅を含む）に補助対象設備を設置する方および自ら居住するために市内に補助対象設備付き住宅を購入する方

③補助申請に係るすべての手続きを平成24年3月20日までに完了することができる方

④市税を滞納していない方

●申込期限

5月31日（火）まで

●受付窓口

環境保全課、笠間支所生活

課（地域課）、岩間支所生活課（地域課）

●申請書類

設置費補助希望（抽選参加）申込書

※笠間市公式ホームページからダウンロードできます。また、各窓口でも配布しています。

●注意点

※補助金交付者は抽選により決定します。抽選日（公開）は6月8日（水）午前9時から友部公民館大会議室で行います。ただし、抽選申込者が定員に満たない場合は、申込者全員が補助対象となります。

※市からの補助金交付決定通知前に補助対象機器の設置工事を開始した場合には、補助金の交付は受けられません。（補助金交付決定は、抽選当選者が設置費補助金申請後、2週間程度かかります。）

●問合せ

環境保全課（内線125）

【補助内容】

	太陽光発電システム	二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器
補助対象	電力会社と電力受給契約および余剰電力の販売契約をしているもので、太陽電池モジュールの最大出力の合計値が10kW未満の住宅用太陽光発電システムの設置	自ら居住する住宅に設置された年間給湯効率が3.1以上の機器の設置
補助金額	1kWあたり60,000円（限度額250,000円）	一台につき60,000円

市民憲章

わたしたち笠間市民のねがい ～笠間市民憲章～

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日制定

らくようかん
楽腰館

東平鍼・灸接骨院

笠間市東平2丁目12番8号

TEL 0296-77-9939

休診日/木曜日

土・日 診療中！

県立中央病院通り沿い

●往療可

●急患受付

●通院送迎実施中（無料）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30	○	○	○	/	○	○	○
午後2:30～ 8:30	○	○	○	/	○	○	○

適切な救命処置で人命救助

3月29日、笠間市役所において、人命救助による消防協力者表彰が行われました。

表彰を受けたのは武藤 愛さん（旭町）。

笠間市中央1丁目地内の飲食店で、女性が食べ物をのどに詰まらせ意識不明の状態に陥ったところを、同店に勤務する武藤さんが口腔内の異物を取り除き気道を確保した上で、人工呼吸と胸骨圧迫を行ったものです。

救急隊が病院へ搬送した後に、女性は会話が出来る状態まで回復しました。

一刻を争う現場で、迅速かつ的確な救命処置を実施したことで、一人の尊い命が救われました。

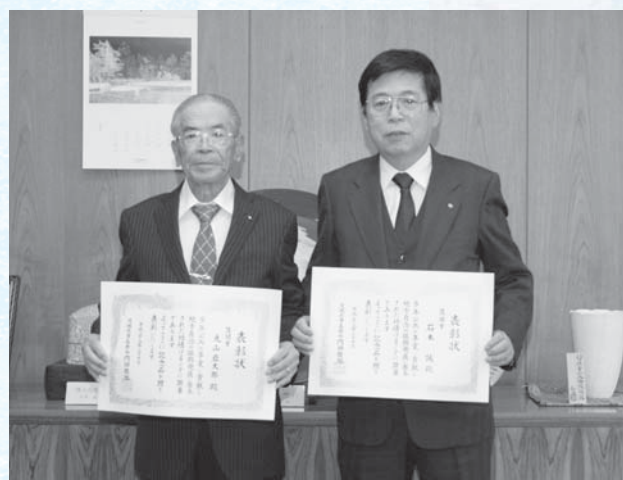


感謝状を手にする武藤さん（左）

民間自治功労者表彰が行われました

2月10日、水戸市にある茨城県市町村会館で県市長会主催の民間自治功労者表彰式が行われ、笠間市からは、石本 誠さん、丸山 岩太郎さんが表彰を受けました。

石本さんは長年にわたり笠間市嘱託医を務め、合併後の初代笠間市医師会長として地域医療に貢献、丸山さんはシルバー人材センターの理事長として3市町のシルバー人材センターを統合、また市民交流事業のリーダーとして尽力した功績が認められたものです。



表彰状を手にする丸山さん（左）、石本さん（右）

最新型の高規格救急車が寄贈されました

この度、全国共済農業協同組合連合会茨城県本部から同団体に取り組んでいる「地域の安全・安心プロジェクト」の一環として、笠間市へ最新型の高規格救急車が寄贈されました。

寄贈に伴い、去る2月18日、笠間市消防本部において受納式を行いました。

受納式には関係者約70名が参加し、全国共済農業協同組合連合会茨城県本部 市野沢 弘 運営委員会会長から山口市長へ救急車のマスコットキーが手渡され、山口市長からは同団体の功績をたたえ感謝状を贈呈、市野沢会長、山口市長および来賓の方々による挨拶の後、救急隊員によるデモンストレーションを実施しました。

今回寄贈された救急車は、7人乗りの高規格救急車で、救急救命士が車内で高度な救命処置を行いながら患者を搬送できる車両です。式典終了後、友部消防署へ配備しました。

なお、笠間市消防本部では、管内に5台の救急車を配備していますが、今回の寄贈を受け、5台中4台が高規格救急車となりました。



市野沢会長（右側）からマスコットキーを受け取る山口市長

中田英寿さん企画陶芸展を開催

2月23日夕方、茨城県陶芸美術館の特別展「REVALUE NIPPON PROJECT—中田英寿、現代陶芸と出会う」に元プロサッカー選手の中田英寿さんが訪れました。会場には多くの一般入館者もいましたが、中田さんの突然の訪問に驚いていました。

この展覧会では、現在最も注目を浴びている国内屈指の若手陶芸家と国内外で活躍するクリエイターによる5組のコラボレーション作品など約60点が展示されました。



作品を鑑賞する中田英寿さん

いばらきデザイン セレクション巡り@笠間

3月1日から「いばらきデザインセレクション巡り@笠間」が、「回廊ギャラリー門」などで開催されました。

県は、優れたデザインを持つ工業製品や工芸品、食品、建築などを「いばらきデザインセレクション」として選んでおり、昨年、「回廊ギャラリー門」が審査員奨励に選ばれました。それを機に、民間の陶芸ギャラリーと笠間市、茨城県の3施設が連携することとなりました。

「回廊ギャラリー門」は、築300年の梁材を基調とした白壁の回廊型建築、半屋外の自然光を生かして笠間焼を展示しています。

「回廊ギャラリー門」「笠間工芸の丘」「県窯業指導所」の3施設で、「いばらきデザインセレクション」の選定品を販売しています。



回廊ギャラリー門

ここに響いた透明な音色

2月21日、南中学校と稲田中学校で青少年育成笠間地区市民会議（会長 中根勝吉さん）による音楽観賞教室が開催されました。

演奏してくれたのは寺沢希美さん（ヴァイオリン）と河地恵理子さん（ピアノ）。クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさまでもおなじみで息もぴったりの2人が、エルガーの「愛のあいさつ」や、プッチーニのオペラ、トゥーランドットから「誰も寝てはならぬ」、フォスターの「トゥーラブユーモア」などを演奏しました。

ヴァイオリンの説明やおしゃべり、生徒からの質問にこたえるなど、終始楽しい雰囲気のコンサートでしたが、2人のプロの演奏に触れると、会場の生徒たちは目を潤ませて聞き入っていました。



南中学校音楽室での演奏の様子

平成22年度 笠間市表彰

おめでとうございます



3月29日、平成22年度笠間市表彰式が笠間市役所本所で行われました。これは、市政の発展に著しい功績があった方々をたたえるもので、行政、経済、文化、社会、体育などの各分野で多大な貢献をされた次の9名および2団体が受賞されました。

《受賞者・功績》 ※敬称略

園部 昭徳（平町）

長年にわたり、区長会長並びに民生委員として地方自治と社会福祉の発展に貢献されました。

飛田 文雄（来栖）

長年にわたり、区長会副会長として地方自治の発展に貢献されました。

深谷 忠（八雲）

長年にわたり、人権擁護委員として人権尊重思想の普及高揚に貢献されました。

榎並 和子（笠間）

長年にわたり、保護司として更生保護活動に従事し公共の福祉増進に貢献しました。

綿引 義男（笠間）

長年にわたり、保護司として更生保護活動に従事し公共の福祉増進に貢献しました。

磯 利子（稲田）

長年にわたり、保護司として更生保護活動に従事し公共の福祉増進に貢献しました。

君島由紀子（泉）

長年にわたり、体育指導委員としてスポーツ振興に貢献されました。

関 和夫（池野辺）

長年にわたり、笠間市体育協会副会長として加盟団体の育成強化に貢献しました。

中村 太地（笠間）

国内の主要な大会で優勝するとともに日本を代表する選手として国際大会に出場し優秀な成績を収めスポーツ発展向上に貢献しました。

笠間市まちづくり教室

（会長 川松 三男）

長年にわたり、住みよいまち暮らししやすいまちを目指し、行政と連携し市民活動の側面からまちづくりに貢献されました。

東日本鉄道OB会笠間鉄友会

（会長 石田 俊夫）

長年にわたり、石井街区公園の蒸気機関車の清掃、また、笠間駅、稲田駅、福原駅の美化に貢献されました。

創業300年の歴史ある
畳屋で修業してきました



畳工房ニタイラ

H22年1月
オープン!!

- ・畳表替え…………… 3,900円～
- ・襖張替え…………… 2,800円～
- ・障子張替え(大) 1,780円～
- ・アミ戸張替え(大) 2,100円～

暖かくなってきましたね。
コタツをあげて畳替えは
いかがですか？

表替え

10%OFF

見 積 り 無 料

すべて国産品!!
変わった表も多数
取り揃えております。



笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845

4月1日
から

笠間市消防団の支団制を廃止 指揮命令系統を一本化

笠間市の消防団は、平成18年3月の市町合併時に従来の市町単位の3地区の消防団として継続しました。平成20年4月1日に一つの消防団として統合し、支団制を採用してきましたが、有事の際の迅速な災害活動体制を構築するため指揮命令系統を一本化することとして支団制を廃止し、平成23年4月1日をもって新たなスタートを切りました。

これに伴い、分団の名称も第1分団から第46分団と名称を変更しました。

(例) 笠間市消防団笠間支団第1分団→笠間市消防団第15分団

詳細については、市消防本部ホームページに掲載してありますので、ご参照ください。

■新組織

分団数…46分団
団員数…760名

■新役員

団長…深谷 一郎
副団長…嶋田 清 中島 清

菅谷 賢一 江田 耕平
谷口富士男 深澤日出男

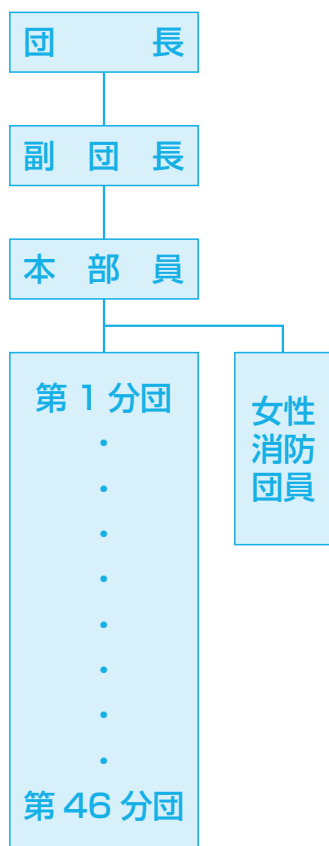
本部員…佐久間利行 郡司 智一
大崎 光徳 生天目邦夫
田中 武 大高 勝彦
埴 孝 佐々木裕一
中根 秀司 水越 豊
大関 賢一 仁平 一征

■問合せ

電話…0296-73-0119
(内線240)

《H23・4・1現在》

■新組織図



国民健康保険

人間ドック検診 脳ドック

多くの方が早朝から順番待ちで並んでいる事態の解消やどなたも公平に受けられるよう、平成23年度のドック補助の受付方法を従来の先着順による方法から抽選による方法に変更します。

本所・支所の担当窓口に用意してある応募用紙に必要事項を記入し、募集期間中に提出してください。応募は1人1回のみで、複数回応募した方は無効とします。家族の名前で応募して別人が受けることもできません。

脳ドックは、平成21年度・22年度に市の助成を受けた方は応募できません。

◆対象者

平成23年4月1日現在40歳以上で受診日に74歳以下の笠間市国民健康保険の被保険者で、国民健康保険税を完納している世帯

◆予定募集期間

4月25日(月)～5月12日(木)
※土・日・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで。ただし、窓口延長日は午後7時30分まで。

※募集期間や募集人数などの詳細は決まり次第、4月発行の「広報かさま お知らせ版」にてお知らせします。

◆問合せ

保険年金課
(内線139・140)

後期高齢者

人間ドック 脳ドック検診

平成23年度の募集受付をお知らせします。

◆対象者

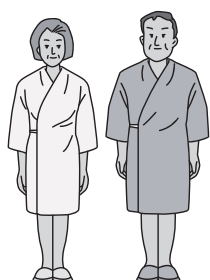
後期高齢者医療制度の被保険者で、保険料を完納している方

◆受付日時

平成23年5月10日(火) 午前8時30分から
※詳細は、4月発行の「広報かさまお知らせ版」にてお知らせします。

◆問合せ

保険年金課
(内線141・142)



安心してインターネットを使うために



3月15日から市内全域で光回線でのインターネットサービスが開始されました。

インターネットでは、ショッピング、オークション、メールなど、さまざまなことができる一方、犯罪につながるような情報やウイルス被害にあつなどの危険があふれています。インターネットでの被害にあわないため、次のことに気をつけましょう。

知らない人に個人情報をお教えしない

迷惑メールが届いたり、ネットストーリーカーにつきまわられたりするなどの被害にあふことがあるため、インターネットで知り合つた人に自分の

の名前や住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報をお教えしないようにしましょう。もちろん、自分の情報だけでなく、家族や友人の個人情報も同様です。

また、信頼できないホームページへの個人情報の登録は避けましょう。

サイトを通じて知らない人と会わない

出会い系サイトの18歳未満の利用は法律で禁止されています。また、ストーリーカーの被害にあふことがあるため、交流を目的としたコミュニケーションサイトなどを通じて、見知らぬ人と会うことは危険なのでしないようにしましょう。

IDやパスワードをお教えしない、勝手に使わない

見覚えのない品物や請求書

が届くなどの被害にあわないため、自分のIDやパスワードをお教えしたり、簡単に推測されるようなパスワードを使用したりしないようにしましょう。また、他人のIDやパスワードを勝手に使用してログインすることは「不正アクセス」という犯罪になります。

違法なファイルや分らないファイルはダウンロードしない

ダウンロードによりパソコンがウイルスに感染してしまう危険があるので、安易にダウンロードはしないようにしましょう。

不審なメールやホームページは閲覧しない

メールやホームページを閲覧しただけで、ウイルスに感染したり、パソコン等に保存してある情報が盗み出されたりする危険があります。このような被害を受けないためにも、ウイルス対策ソフトを導入し、不審なメールやホームページは閲覧しないようにしましょう。

ウイルス対策ソフトを導入しよう

ウイルスに感染しないようにするには、ウイルス対策ソフトを導入し、知らない人からの電子メールの添付ファイルを不用意に開かないようにする、あやしいホームページにはできるだけアクセスしないなどの注意が必要です。

また、最近では、無料のウイルス対策ソフトのように見せかけて、ウイルスをインストールさせる手口による被害が増えています。

セキュリティに関心を持ちましょう

新しいウイルスや犯罪の手口は日々進化をしています。新しい手口にも対応できるようにウイルス対策ソフトや導入しているソフトウェアの更新など、自分自身を守るため、常にセキュリティへの関心を持つように心がけましょう。

【問合せ】

行政経営課(内線557、558)
※サイバー犯罪に関する相談は茨城県警察ハイテク犯罪相談
電話
029-301-8109

おたからや水戸店

全国チェーンの買取専門店です。
金・プラチナ・切手・金券・骨董・勲章
刀・ブランド品等をお売り下さい。

水戸市城南2-2-25 フルミエルクビル3F
水戸駅南口直進400m 水戸信用金庫本社ビル隣り
TEL029-303-1770 駐車場ビル裏側
時間10:00-18:00 おたからや 水戸 検索

茨城県公安委員会 第401110000751号

DUSKIN

笠間市

ダスキン

検索

お掃除のお悩み解決します！
ダスキンドータム笠間店

モップで健康おそうじ

大反響！
おうちのハウスダスト対策は大丈夫？
ハウスダスト対策には
新おそうじスタイルの
3点セットがおススメ！
アレルギー抑制
配分モップ

水ウキ感覚で拭き掃除。
掃除コリも砂埃もおまかせ！
フロアモップF
4週間標準
レンタル料金 892円

+
リビングにおける
コンパイルサイズ
ダストクリーナー
4週間標準
レンタル料金 294円

モップ+ダストクリーナー
4週間標準
レンタル料金 1,186円

ご興味のある方は今すぐお電話下さい！0120-724-070

日付	行 事	日付	行 事
1 日	日曜窓口サービス【市役所本所】 8:30～12:00 笠間の陶炎祭（ひまつり）（5月5日まで） 9:00～17:00 笠間芸術の森公園（笠間焼協同組合 ☎ 0296-73-0058） 笠間つつじまつり（8日まで） 8:00～18:00 笠間つつじ公園（笠間観光協会 ☎ 0296-72-9222）	17 火	窓口延長サービス【岩間支所】 17:15～19:30
2 月	いこいの家「はなさか」休館日	18 水	窓口延長サービス【市役所本所】 17:15～19:30 特設無料人権相談所 笠間市友部社会福祉会館（法務） 10:00～15:00 夢いっぱいクラブ（ともべ保） 9:30～11:30
3 火	憲法記念日	19 木	窓口延長サービス【笠間支所】 17:15～19:30 子育てサロン9:00～11:30みなみ公民館 （更生保護女性会 甲斐邦子 ☎ 0296-72-1477）
4 水	みどりの日	20 金	地域児童相談（友保） 10:00～16:00
5 木	こどもの日	21 土	
6 金		22 日	日曜窓口サービス【市役所本所】 8:30～12:00
7 土		23 月	いこいの家「はなさか」休館日
8 日	日曜窓口サービス【市役所本所】 8:30～12:00 普通救命講習会9:00～12:00 市民センターいわま（消本） 天狗の郷バザールdeいわま 岩間駅南広場	24 火	窓口延長サービス【岩間支所】 17:15～19:30 いこいの家「はなさか」休館日
9 月	いこいの家「はなさか」休館日	25 水	窓口延長サービス【市役所本所】 17:15～19:30 特設行政相談（市セ） 14:00～16:00（秘書課 内線 227） 夢いっぱいクラブ（ともべ保） 9:30～11:30
10 火	窓口延長サービス【岩間支所】 17:15～19:30 いこいの家「はなさか」休館日	26 木	窓口延長サービス【笠間支所】 17:15～19:30
11 水	窓口延長サービス【市役所本所】 17:15～19:30 夢いっぱいクラブ（ともべ保） 9:30～11:30	27 金	
12 木	窓口延長サービス【笠間支所】 17:15～19:30	28 土	
13 金		29 日	日曜窓口サービス【市役所本所】 8:30～12:00
14 土		30 月	いこいの家「はなさか」休館日
15 日	日曜窓口サービス【市役所本所】 8:30～12:00 笠間いきいき市場 笠間市みどりの広場	31 火	
16 月	いこいの家「はなさか」休館日		

※岩間子育て支援センターは、毎週月・水・金曜日に開設します（市民センターいわま10:00～16:00）。祝日は休み。
※笠間子育て支援センターは、毎週火・木・金曜日に開設します（笠間ショッピングセンターボレボレ内10:00～16:00）。祝日は休み。
※各保健センターで実施する、健診・予防接種などは、保健カレンダーをご覧ください。

+ 5月の休日救急診療当番(9:00～17:00)

日付	曜日	病院名	電話番号
毎週	日	笠間市立病院	0296-77-0034
3	火	河村医院	0296-72-2121
4	水	常陸クリニック	0296-78-5911
5	木	神里医院	0296-72-0177

※平日夜間19:00～22:00（祝日を除く）は笠間市立病院で初期救急診療を行っています。
※当番医は変更になる場合がありますので、確認の上、診療を受けてください。

テレフォンサービス（☎0296-77-9711）

テレフォンサービスは当分の間お休みします。

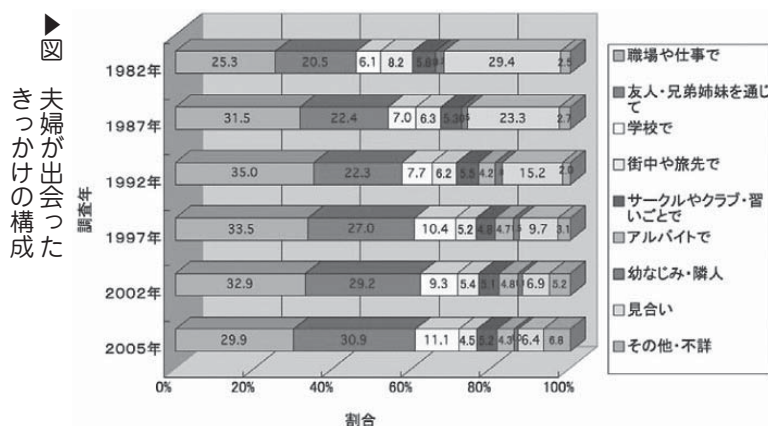
電話番号一覧

（ともべ保）ともべ保育所	0296-77-6105
（は）いこいの家はなさか	0296-77-5110
（笠公）笠間公民館	0296-72-2100
（友公）友部公民館	0296-77-7533
（岩公）岩間公民館	0299-45-2080
（笠保）笠間保健センター	0296-72-7711
（友保）友部保健センター	0296-77-9145
（岩保）岩間保健センター	0299-45-7888
（市セ）市民センターいわま	0299-37-6611
	0296-77-1101
（法務）水戸地方法務局	029-227-9919
（消本）笠間市消防本部	0296-73-0119

かさまりアージュ

【出会いの変化?】

下の図は、国立社会保障・人口問題研究所が初婚同士の夫婦を対象に、出会いのきっかけについて調査したものです。この結果をみると、最新の2005年では職場関係の出会いよりも友人等を通じての出会いの方が多くなっています。さらに、2月放送のNHK「クローズアップ現代」(結婚したいのに)で放送されたなかでも未婚率の上昇の大きな原因のひとつに職場での縁が少なくなったことをあげています。見落としがちな身近なところ、目を向けてみると意外な出会いがあるかもしれません。職場での出会いに恵まれない状況もフォローできるよう、笠間市などの自治体をはじめ、いばらき出会いサポートセンターではさまざまなイベントを企画しています。ホームページなどで情報を入手しぜひご利用ください。



【問合せ】

いばらき出会いサポートセンター
〒310-0011
水戸市三の丸1-5-38
(茨城県三の丸庁舎3階)
TEL 029-224-8888
FAX 029-224-8921
受付時間 午前9時～午後5時
(年末年始・祝日を除く)
HP <http://www.ibcnet.com>

市長のらむ

震度6強

その時、私は市長室にて議会の打合せを職員と行っていました。「カタカタ」という音から「ガタガタ」「ギンギン」とゆれが大きくなり、「でかいぞ」「キヤー」「大丈夫か」「頭に気をつける」「早く外に出ろ」悲鳴と物が割れていく音から始まりました。一瞬の出来事でしたが、感じたことのない恐怖感に覆われました。

3月11日午後2時46分。世界最大級の地震が東北、関東地方を中心に発生し、未曾有の大きな被害をもたらしました。この地震において亡くなられた多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。そして、未だ行方不明となっている方々の早期発見を願うとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

笠間市においても、約2,500戸の家屋や公共施設、ライフライン等に大きな被害がありました。地震後においては避難所8カ所に最大時には約2,000人の方が避難されました。

その後も原発に不安を感じた福島県等の方々の避難が続いております。避難所、給水活動、各所復旧等の作業において多くのボランティアの方々、企業・商店の方々に尽力いただき、また、さらに義援金、物資の支援も各方面からいただき、皆様の心温まる励ましに深く感謝を申し上げます。



支援物資を届けてくれた田辺市職員と(3/12)

また、地震後の対応については市民のご要望に対して行き届かない点があり、不安とご迷惑をおかけしましたことにお詫びを申し上げます。市として、完全復旧に向け全力で取り組んでまいります。また、今回の地震を教訓に防災対策を進め、安心で災害に強い街づくりに取り組んでまいります。

市民の皆様には、冷静に行動していただきましたが、改めて地域においての支え合いや、助け合う意識を持つて行動することの大切さ、また自主防災組織の必要性を認識されたと思われる。

私も地域連携の必要性や、トップとして常に冷静にスピーディに判断する事の重要性を肝に銘じました。

市民の皆さん、笠間の未来に向け頑張りましょう。(3月22日)

笠間市長
山口伸樹

睡眠の質を考える

「何時間眠ったか」よりも、「日中眠くならないか」

笠間市立病院 石塚恒夫

先日北川根小学校の6年生に、「早寝・早起き・朝ご飯」の話を機会がありました。

早起きして朝の光を浴び、朝ご飯を食べることで、体内時計をリセットでき、日中十分に活動できれば、夜には自然に眠くなるので早寝できると話しました。しかし実際には仕事や勉強・娯楽などで、睡眠を削ってはいませんか。睡眠不足はストレスであり日中の活動性を低下させますが、慢性化すると体も慣れてしまうのです。本人が気付かなくても注意力や集中力が落ちていて、仕事のミスや運転中の事故の原因になります。

睡眠時間と死亡率の調査によると、成人では7時間程度の睡眠をとるグループが一番長生きでした（小児ではもっと必要ですが）。睡眠時間が短いと死亡率も高めてしまうのです。しかし意外にも睡眠時間は長くてもいけません。長い睡眠が必要ということ、睡眠の質が悪いということ、時間的に十分寝ているのに日中眠くなってしまう

には、何か原因があるので

最近では日中の眠気を引き起こす原因として、睡眠時無呼吸症候群やむずむず脚症候群が注目されています。大きないびきをかいいたり息が止まってしまうたりはしていませんか、夜間に下肢がほてって動かしにくくなったり周期的にびくついたりしませんか。これらの症状は治療で改善するので、家族に睡眠状態をみてもらってください。また寝酒をすると深い睡眠が得られず、夜中目が覚めてしまったり、熟睡感が得られずお酒に頼って眠ろうとしますが、その原因もお酒にあるのです。アルコールは睡眠時無呼吸も悪化させますので、寝る前の飲酒を控えましょう。

必要な睡眠時間には個人差があり、「何時間眠ったか」よりも「日中眠くならないか」が大事です。日中の眠気にもっと敏感になり、睡眠の質について考えましょう。日中しっかりと活動して夜はしっかりと眠るという、メリハリが大事なのです。

中小企業・就職活動中の離職者・学生等に対する支援

企業活動緊急支援補助

従業員の働きやすい環境づくりを目的に、企業が行う福利厚生施設等を整備する経費に対する補助です。

◆対象者 中小企業者

◆対象経費 福利厚生施設等の整備に要する経費

◆補助額 整備に要する100万円以上の経費の5分の1以内。補助限度額300万円

中小企業緊急雇用安定支援補助

従業員の雇用の安定を図るため、国の中小企業緊急雇用安定支援助成金の支給決定を受けた、中小企業の事業主の負担する経費に対する補助です。

◆対象者 中小企業者（ハローワークに国助成金に係る休業等の実施計画届を提出し支給の決定を受けた者で平成24年3月31日までに申請した者）

◆対象経費 国の中小企業緊急雇用安定支援助成金の支給決定を受けた、中小企業の事業主の負担する経費

◆補助額 国支給決定通知書に記載された額の5%相当額

職業能力アップ支援補助

中小企業者や就職活動中の離職者、未就職者等が、職に関連する資格を取得するための受験料等の経費

に対する補助です。

◆対象者 市内に住所を有する就職活動中の離職者、未就職者等（ハローワークに求職登録済の者）および中小企業者（事業主を含め1企業5人まで）

◆対象経費 個人および事業主が負担する資格取得に関する受験料等の経費

◆補助額 経費の2分の1以内の額とし、10万円を限度とする。交付は2回まで

就職応援事業補助

市内に住所を有する学生等および非正規雇用者が、平成23年2月1日以降に受験等をした、就職に役立つ資格を取得するための受験料等の経費に対する補助です。

◆対象者 市内に住所を有する学生等および非正規雇用者

◆対象経費 平成23年2月1日から平成24年1月31日の間に受験等をした、就職に役立つ資格を取得するための受験料等の経費

◆補助額 経費の2分の1以内の額とし、10万円を限度とする。交付は2回まで

※申請にあたっての要件等詳細については、お問い合わせください。

【申請・問合せ】

商工観光課 内線517

・ 活動中です ・

こうみんかん



笠間公民館
友部公民館
岩間公民館

☎0296-72-2100
☎0296-77-7533
☎0299-45-2080

第33回地区公民館芸能発表会を開催

笠間地区公民館連絡協議会主催による、第33回地区公民館芸能発表会が3月6日（日）に笠間公民館大ホールで開催されました。12館ある地区公民館では、舞踊、詩吟、フラダンス、三味線、フォーク、カラオケなどさまざまなサークル活動が行われており、日頃の成果を披露し盛大に開催されました。



国際交流サロン

4月の「世界のランキング 1・2・3」は世界の住み良い大都市ランキングです。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

「世界のランキング 1・2・3」

世界の住み良い大都市ランキング

- 1位 スtockホルム(スウェーデン)
- 2位 オスロ(ノルウェー)
- 3位 ミュンヘン(ドイツ)

参考：東京（日本）は20位
ニューヨーク（アメリカ）は15位

※UCLA環境研究所：飲料水・温室効果ガス放出量・教育環境・収入水準の調査結果

5月の国際交流情報

☆陶炎祭ボランティアガイド

4月29日(金)～5月5日(木)【陶芸美術館エリア(予定)】

☆笠間市国際交流協会総会

5月28日(土)午後1時30分～【笠間工芸の丘・会議室】

☆日本語教室（友部公民館 午前10時～）

5月7日（土）、14日（土）、21日（土）

※4月の日本語教室は中止になりました。



クウェートナショナルデーにクウェート大使に陶板贈呈

笠間市国際交流協会総会開催のお知らせ

笠間市国際交流協会の平成23年度総会を5月28日（土）午後1時30分に笠間工芸の丘・会議室で開催します。会場にて新規入会者の受付もいたします。新入会員も総会に参加できます。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel 090-2761-8711（木村 美枝子）

☆としょかん1年生事業スタート！

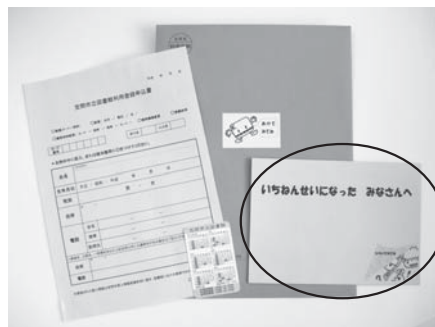
笠間市立図書館では、今年度から「としょかん1年生事業」を始めました。

この事業は、新1年生のみなさんに、自分のカードで資料を借り、図書館のことをもっと知って、楽しく使ってもらうことを目的としています。

お子さんが小さいうちは、ご家族のカードと一緒にご利用いただいていることが多いと思いますが、1年生になった機会に、お子さん本人のカードを作ってみてはいかがでしょうか。

今年度は、笠間市の新1年生約700名に、入学のお祝いとして「準備パック」をお渡ししました。すでにカードを持っている新1年生のみなさんも含め、引換券を図書館にお持ちいただければ、カードケース、図書館使い方ガイド、おすすめ本リストなどが入った「としょかん1年生パック」をお渡しします。

ぜひ最寄りの笠間市立図書館へお越しください。



「としょかん1年生パック」の引換券
 〈準備パック〉

◆友部図書館でリニューアル開館記念式典を開催

蔵書点検やシステム更新作業、開館準備を経て、3月1日に待望の開館を迎えました。新設のゲート前に、ボランティアの皆さんから贈られた花が添えられ、開館をお待ちの利用者やボランティアの皆様、新聞・テレビなどの報道、主催側の市教育委員会・図書館関係者により、開館記念式典を開催しました。飯島教育長と利用者代表の伊藤さんによるテープカットで開館し、新機能の携帯電話利用の貸出・自動貸出機の実演が行われました。この様子は、NHKテレビで放送され、新聞でも紹介されました。



〈式典の様子〉



〈リニューアルされた館内〉

◆笠間図書館 しかけ絵本ギャラリー展示中

笠間図書館では、精巧なしかけが盛りだくさんの、しかけ絵本ギャラリーを設置しています。かわいらしい絵の裏で、緻密な計算が幾重もの複雑な動きを実現しています。

ぜひ、繊細で美しいしかけ絵本の世界をご堪能ください。



〈楽しいしかけ絵本が
おまちしています〉

各館の
行事予定(5月)

友部図書館

- ◆おはなし会(0歳～4歳向け 午前11時～)
 - 5月5日(木)『そっくりで』ほか
 - 5月19日(木)『ありさんどうぞ』ほか
- ◆おはなし会(4歳～小学生向け 午後2時～)
 - 5月1日(日)『ちからたろう』ほか
 - 5月8日(日)『くわずにようぼう』ほか
 - 5月15日(日)『ちいさないきものむし』ほか
- ◆名作映画会(午後2時～)
 - 5月22日(日)『ハリ・ポッターと秘密の部屋』(161分)
- ◆ギャラリー
 - 5月1日(日)まで「風景写真展示」佐川直樹個展
 - 5月3日(火)～5月15日(日)
 - 「写真展示」友部写真会
 - 5月17日(火)～5月29日(日)
 - 「和紙ちぎり絵展示」和紙ちぎり絵すずの会
 - 5月31日(火)～6月12日(日)
 - 「水彩画展示」絵画クラブふたば会



笠間図書館

- ◆おはなし会(0歳～3歳向け 午前11時～11時20分)
 - 5月6日(金)『おっばい いっぱい のんだこは』ほか
 - 5月20日(金)『たまご』ほか
- ◆おはなし会(午後2時～2時30分)
 - 5月1日(日)『まるくておっきくてまっくろで』ほか
 - 5月8日(日)『まあちゃんのながいかみ』ほか
 - 5月15日(日)『からすのパンやさん』ほか
 - 5月22日(日)『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』ほか
- ◆ビデオ映画上映会(午後2時～)
 - 5月21日(土)『アルジャーノンに花束を(洋画)』(95分)



岩間図書館

- ◆おはなし会(0歳～3歳向け 午前11時30分～正午)
 - 5月6日(金)「ふるるんぱっぱー」ほか
 - *場所：岩間子育て支援センターくりのこ
- ◆おはなし会(4歳～小学生向け)
 - ◇日曜おはなし会(午後2時～2時30分)
 - 5月1日(日)「ふってきました」ほか
 - ◇おはなしのとびら(午後2時～2時30分)
 - 5月14日(土)「うみべのハリー」ほか
 - ◇おはなし会(午前11時～11時30分)
 - 5月28日(土)来てのおたのしみ！

新・副市長が決まりました



田所 和弘
(49歳)
水戸市在住

経歴

昭和60年茨城県庁に入庁し、長年にわたり県発展のために尽力。4月1日付けで、笠間市副市長に就任。

となりのまちから

水戸地方広域市町村圏協議会

「第6回 スプリングフェスティバルin水戸」を開催

(水戸市)

【4月23日(土)～5月5日(木)】

森林公園において、森林公園フェスティバルを開催します。期間中の休祝日に、工作教室や子ヤギとのふれあいコーナー等、様々なイベントが行われます。

☎森林公園Tel029(252)7500

【4月29日(金)～5月5日(木)】

森のシェーブル館において、森のシェーブル館感謝祭が開催されます。

☎森のシェーブル館

Tel029(255)1482

水戸市内各所では、他にも各フェスティバルを予定していましたが、東日本大震災により中止になりました。

▽桜まつり／イベントは中止

・千波公園・桜山・県庁三の丸庁舎等

▽かたくりまつり／中止

▽つつじまつり／一部開催

・森林公園のみ開催

▽植物公園フェスティバル／中止

〈地震の被害にあわれた農業者の皆様へ〉

東日本大震災の被害にあわれた農業者の方が利用できる農業制度資金についてご案内します。

1. 災害復旧に活用できる資金(運転資金)

資金名	融資機関	貸付条件等				
		対象者	償還期間	うち据置期間	貸付限度額	貸付利率 (H23.3.18現在)
農林漁業セーフティネット資金	日本政策金融公庫	災害により被害を受けた農業者	10年	3年	300万円	7年以内:0.75% 8年:0.85% 9年:0.95% 10年:1.05%
スーパーS資金	農協	認定農業者	1年	無	個人500万円 法人2,000万円	1.50%
系統農業災害資金(※)	農協	農協の正組合員の被害農業者	5年	1年	500万円	0.43% (保証料含む)

(※) 地震により農作物等の被害を受けた農業者(正組合員)を対象に、農協系統(JAグループ茨城)が創設した資金です。
借入申込期間は平成23年3月22日から6月30日までです。

(注) 融資については、各融資機関(日本政策金融公庫、農協)にご相談下さい。

2. 農業施設の整備に活用できる資金

資金名	融資機関	貸付条件等				
		対象者	償還期間	うち据置期間	貸付限度額	貸付利率 (H23.3.18現在)
農業近代化資金	農協、銀行等	認定農業者	15年	7年	個人1,800万円 法人2億円	当初5年間無利子 5年～10年: 0.75～1.05% 10年超: 1.15～1.35% 1.60%
		認定農業者以外				
スーパーL資金	日本政策金融公庫	認定農業者	25年	10年	個人 1億5千万円 法人5億円	当初5年間無利子 5年～10年: 0.75～1.05% 10年超: 1.15～1.60%
認定農業者育成特別資金	農協	農協の正組合員である認定農業者	5年	1年	500万円	実質無利子

(注) 融資については、各融資機関(日本政策金融公庫、農協)にご相談ください。

☎農政課(内線524)

〈中小企業向け特別相談窓口を開設します〉

今回の大震災に伴う被災中小企業者等対策として、特別相談窓口を商工会に設置いたしましたのでご利用ください。また、毎月1回開催の市制度金融審査の受付を5月まで月2回受付いたします。

- ・相談内容 災害復旧貸付(日本政策金融公庫)
東北地方太平洋沖地震特別対策融資制度(茨城県震災対策融資)
笠間市中小企業事業資金融資あっせん事業(自治金融)など
- ・相談窓口 笠間市商工会 本所・友部事務所・岩間事務所
- ・窓口時間 8:30～17:15 ☎笠間市商工会0296-72-0844

エコフロンティアかさま監視委員会活動報告 実施日 2月22日

【施設の維持管理(一般廃棄物・産業廃棄物)】

環境保全事業団より、施設の維持管理に係る資料の提出を求め、その資料に基づき維持管理状況の報告を受けた。

施設の維持管理について、「施設の維持管理に関する計画」において一般廃棄物で26項目、産業廃棄物で28項目を定めており、一般廃棄物・産業廃棄物とも施設の維持管理計画に従い適正に実施されている。

【現地監視】

溶融処理施設内

展開ヤードでの処理状況及び中央制御室での管理状況について監視した。

【次回の監視活動】

施設モニタリング・排ガスの維持管理・浸出水の放流について実施。

山旅倶楽部

Little Cat

あなたの登りたい山をご案内します。

日本山岳ガイド協会認定ガイド(富田)
090-4748-7599, tomita@crux.ocn.ne.jp
http://yamatabiculabu.web.fc2.com

千成の歓送迎会ランチ

4月限定

要予約・昼限定(11:00～13:30) 1980円(税別)

ランチにぎり・ミニシーザーサラダ
ミニサーモンキッシュ・海老フライ・あら汁
デザート2種(桜とガリのシフォンケーキ他1品)

*法事膳にもご利用下さい! 通常ランチも大好評!

ご予約・お問合せは... ☎0296-77-2800 月曜休

寿司割烹千成 笠間市大田町1088-3 JR友部駅北口左折900m

「食べログ」もみてね! →



案内

4月から妊産婦医療福祉費支給制度（マル福）の手続きが変わりました

妊産婦の方の負担軽減を図るため、4月1日から、妊産婦マル福受給者証交付申請の際に必要な産婦人科医の証明が省略され、母子健康手帳交付を受けた方は、妊産婦マル福の申請手続きが可能になりました。

対象者▶保健センターで母子健康手帳の交付を受けた方

※一定額以上の所得がある方は、

該当しない場合があります。

手続き▶母子健康手帳、保険証、印鑑、振込口座のわかるものを持参の上、次の窓口で申請してください。

■・■保険年金課（内線143）

笠間支所市民窓口課

TEL0296（72）7903

岩間支所市民窓口課（内線73183）

春季都市緑化祭開催のおしらせ

4月～6月は「都市緑化推進運動期間」です。都市緑化の大切さを楽しみながら感じていただけるよう、今年も「春季都市緑化祭」を開催します。

緑化普及啓発のための参加体験

型イベントや、球根の無料配布などを行いますので、ぜひご来園ください。

日時▶5月22日（日）雨天中止
10時～15時まで

場所▶笠間芸術の森公園内三館広場（茨城県陶芸美術館前広場）

内容▶インテリアグリーン（ミニ観葉植物）作成教室、球根つかみ取り、緑化相談

無料配布コーナー（風船・水ヨーヨー・木っ端材木）、竹細工教室、竹垣教室

*内容は予告なく変わることがあります。

■都市計画課（内線586）

平成23年4月1日付笠間市人事（部課長級・新規採用職員）

今回の人事異動については、3月11日発生した東日本大地震による災害対応等の特別事情により、部長級の昇格等による最小限の異動に留めました。

なお、消防については、通常どおりの人事異動を行っています。

市民生活部長兼岩間支所市民窓口課長	小坂 浩
兼岩間支所生活課長	
福祉部長兼福祉事務所長兼社会福祉課長	小松崎栄一
会計管理者	中村 章一
議会事務局長兼議会事務局次長	前嶋 晃司
産業経済部農政課長兼農政課岩間分室長	田中 仁士
（茨城県より派遣）	

消防本部消防長	小森 清
消防本部消防次長兼総務課長	大津 洋一
消防本部予防課長	杉山 洋一
消防本部警防課長	橋本 泰享
消防本部通信指令課長	田口 信助
笠間消防署長	水越 均
友部消防署長	大貫 一郎
岩間消防署長	小松崎恵一

新規採用職員（配属先）《50音順》

朝倉 康幸（健康増進課）
安達 有香（子ども福祉課）
大久保潤樹（農村整備課）
大久保守秀（保険年金課）
小沢 敦（商工観光課副参事）
押手 健介（道路整備課）
加藤 美幸（農政課）
加部東良平（市民課）
川崎 仁子（企画政策課）
國谷 直人（環境保全課）
小葉翔太郎（学務課）
酒井 理恵（健康増進課）
須賀 光子（笠間市立病院）
高木 香苗（税務課）
豊田 秋平（高齢福祉課）
長谷川正美（生涯学習課）
浅井 伸樹（消防本部総務課）
森 翔（消防本部予防課）
大塚 遼（消防本部総務課）
新田 良（消防本部総務課）
白石 安彦（消防本部総務課）

<http://lohas-h.com>



ロハスホーム
～空間ショールーム～

住まいづくりの情報館になってます。
新築、リフォーム相談会実施中♪

デザイン×クオリティ×環境
株式会社 ロハスホーム

笠間市笠間1085 筑波銀行笠間支店前
TEL:0296-73-4062

…幸せな結婚を望むあなたに…



「花嫁修業が出来る」結婚相談所
真剣に結婚を考えている方お電話
下さい。女子力UP講座も随時行っ
ております。

☎0296-77-8031 ご相談無料

笠間市鯉淵6246-57 テディ・ベアー

シリーズ⑤⑧ ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡下さい。



合同ハイキング 戦場ヶ原



大久保光男さん(代表者)より

平成12年度から、教育委員会体育振興室で開催された「歩け歩こう教室」の受講生が中心となり、ウォーキングを広めようということで、講座終了生の6団体により結成された組織であります。有酸素運動の代表格が、ウォーキングであり、さまざまな効果が認められ、ストレスの解消・気分のリフレッシュ等が期待されます。

みなさんも一緒に、生活習慣病の予防・改善、老化防止等手軽にできるウォーキングを始めましょう。

《問合せ》

大久保 0296-72-2858

健康で楽しい生活を… 1日1万歩

当協会では、春と秋にウォーキング大会を実施し、愛好者の親睦と交流を図り、健康の大切さや、ウォーキングの楽しさを実感し、手軽に楽しめる会として活動しています。組織面では、下部に6団体があり、毎月1回ハイキングを実施しています。場所については、県内・近県と各地域の特徴をとらえ、季節に応じた計画をしています。実施にあたっては、安全が第一であり、万全を期するための下見を十分行います。事故のないよう、場所の選定には細心の注意を払います。日常生活の中で、自転車や歩く機会を多くし、歩く距離を少しでも延ばしたいものです。エレベーターを使わず、階段を利用する等、歩けば必ず体にいいことがありそうです。

笠間市 ウォーキング協会

代表者 大久保光男(下市毛)

設立 平成16年

会員 243人・団体6



ピオトープハイキング
～北山公園



大塚池ハイキング
歩こう会



アルクベクラブ
ハイキング(八郷地区)



さんぽの会 那須岳

第11代かさま観光大使を紹介します!

市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンで活躍するかさま観光大使の11代目に横山紗織さんと清水まみ奈さんの2人が選ばれました。

平成23年4月から25年3月までの2年間、笠間市の観光PRを行っていきます。

みなさん、よろしくお願いします!



よこやま 紗織さん
(水戸市在住)

美術に関心があり、笠間が大好きだという彼女。更なる笠間の魅力を発見し、より多くの人に知ってもらいたいと、意欲をみせています。



しみず まみ奈さん
(ひたちなか市在住)

イギリスへの留学経験があり語学堪能。その経験を生かして、日本のみならず海外の方にも、大好きな笠間をPRしたいと抱負を語りました。

第40回 笠間つつじまつり

日時 4月16日(土)～5月8日(日)

午前8時～午後6時

会場 笠間つつじ公園(笠間市笠間616-7)

入場料 大人(高校生以上)400円

※今回は、震災の影響により入場料を100円割引します。

※団体割引(20名以上)100円割引

※中学生以下および障がいをお持ちの方は無料

その他 各料金所および本部にチャリティー箱を用意しますのでご協力をお願いします。

第30回笠間の陶炎祭(ひまつり)へようこそ!

～がんばれ東日本! 笠間から元気を発信します!!～



土面オークション



キッズランド

イベント
◆被災地大堀相馬焼(福島県浪江町) 特別出店

入場料
無料
駐車料金
普通車300円
中型バス500円
大型バス1,000円

場所
茨城県笠間市笠間芸術の森公園
イベント広場
日時
4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)
9時～17時

笠間も震災の被害を受けましたが、笠間から日本を元気にするため、約200名の作家や窯元が参加する「ゴールデンウィーク中県内最大イベント」「笠間の陶炎祭(ひまつり)」を開催します。笠間の陶炎祭の特徴は、「個性的な店を自分達で作る」「自慢の作品を並べ」「直接お客様とふれあう」おまつりです。ぜひ、ご来場ください。

問合せ 笠間焼協同組合
TEL 0296(73)0058

◆笠間焼展示販売/笠間焼作家による手作り飲食店/キッズランド

◆東日本大震災義援金コーナー

◆大島花子さん応援出演! 笠間に元気を!! 九ちゃんソングを歌う!(4月29日)

◆チャリティー土面オークション・抹茶碗展・笠間農産物コーナー・笠間地酒コーナー

たけのこと油揚げの混ぜご飯



栄養成分（1人分）

エネルギー281kcal、たん白質5.8g、脂質5.6g、塩分1.0g

材料（4人分）

米	2合
茹でたけのこ（頭：くし型切り、根元：イチョウ切り）	200g
油揚げ（横半分のせん切り）	1枚
干し椎茸（水で戻し、せん切り）	2枚
人参（イチョウ切り）	50g
植物油	大さじ2
砂糖	大さじ1
醤油	大さじ2
シイタケのもどし汁	1カップ
みりん	大さじ1
酢	小さじ1
木の芽	
またはインゲン	適量

作り方

- ①ご飯を炊いておく。
- ②鍋を熱し、たけのこ・椎茸・人参をさっと炒め、砂糖・醤油・椎茸のもどし汁を加え一煮立ちさせ、油揚げ・みりん・酢を入れて中火で汁気がなくなるまで煮る。
- ③ご飯と②を混ぜ合わせて器に盛り、木の芽かインゲンを散らす。

食改さんのおすすめ献立

—今月のレシピを使ってバランスのとれた献立を作ろう—



主食：今月のレシピ

+



主菜：春野菜の天ぷら

副菜：キャベツの浅漬け



汁：青菜のかき卵汁

主食・主菜・副菜をそろえると
食事のバランスが良くなりますよ。



かさま ぽけっと

子育て支援のページ

25

放課後児童クラブとは…

保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学校低学年児童を対象に、学校の余裕教室や専用のクラブ室で、「家庭に代わる場」として、放課後児童の健全育成を目的として保育を行うところです。



東小学校に放課後児童クラブを開設しました

本年4月から東小学校に放課後児童クラブを開設しました。

放課後児童クラブは、家庭的な雰囲気の中で、集団生活を通じて異年齢の児童が生活し、指導員の保育のもと、明るく楽しく元気に過ごしています。

まだ定員に達していませんので、入所を希望される方は、随時受け付けていますので、下記までお申し込みください。



【施設概要】

施設名称：東小児童クラブ
所在地：笠間市大橋1713番地1
笠間市立東小学校内
保育室：東小学校校舎1階
入所定員：30名

【申し込み・問合せ】

笠間市役所 ☎0296-77-1101
（本所）子ども福祉課
内線164
（笠間支所）福祉課
直通電話0296-72-7907

かさまぽけっとアドレス <http://www.city.kasama.lg.jp/kosodate/index.html>

問合せ：子ども福祉課（内線164）

人口と世帯数（常住人口3.1 現在）

- 人口 79,329人（-9人）
 - 世帯数 28,020世帯（+38世帯）
- ※H22国勢調査の速報値に基づく推計値のため、数値は後日変更になる場合があります。
- 2月の出生者数 52人

- 広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課（内線225）まで。
- 表紙の題字「笠間」は書家：関紫芳さんよりご協力いただいたものです。

- 市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。
- アドレス
<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>



再生紙を使用しています。